

身をまかせてベネズエラ

フィエスタ リズムと彩りの祝祭



南米の国ベネズエラには、荒々しく奔放なカウボーイの音楽「ホローボ」やカリブ海のカーニバル音楽「カリブソ」など、多様な音楽文化が存在します。とんがる個性が光るなかで、音楽の魔法によってあなたは「異世界」ベネズエラとの真の出会いを果たすことでしょう
人生のパレットにベネズエラ音楽の新たな色を加えるひと時をお楽しみください

2018年

8月4日(土)

◆ 開場 14時30分 開演 15時 終演 16時30分

◆ 東京大学駒場1キャンパス18号館ホール

◆ 入場無料 予約不要 定員200名 先着順自由席

主な曲目：コーヒールンバ Moliendo café、村娘 Campesina
平原の魂 Alma llanera、グアヤナ・エス Guayana es 他

担当教員：石橋 純（東京大学教養学部ラテンアメリカコース教授）

ゲスト：エストゥディアンティーナ駒場 主催：東京大学教養学部ラテンアメリカコース

Web：estudiantinakomaba.com

お問い合わせ：estudiantina2013@gmail.com



@EstudiantinaKom



@EstudiantinaKomaba

音楽は、あなたを「異世界」へと連れ去る魔法です。コンサートにおいて、演者たちは持ち味や色を出しながら自分を見せます。とんがる個性の衝突と融合により、グルーブが生まれ、リズムには魂が宿ります。初めて聴くのに自然と体がノってしまう。気がつくとそこは「異世界」。これぞ音楽の魔法です。

このコンサートで表現する「異世界」は南米の国ベネズエラです。音楽に身をまかせた途端、あなたを囲む魅惑の世界が立ち現れます。「その世界にとび込みたい」と陶醉への衝動が身体を駆けめぐります。みずからとび込んでみれば、魔法は「異世界」との真の出会いへと昇華するのです。

東大生が奏でる南米ベネズエラ音楽の調べ

「ラテンアメリカ音楽演奏入門」は東京大学教授・石橋純（ラテンアメリカ研究）が教養学部前期課程主題科目全学体験ゼミナールとして毎年開講するゼミです。南米の民衆に根づく4弦ギター「クアトロ」の演奏を中心にベネズエラ音楽の実技実習を行っています。楽器初心者から長年音楽を楽しんできた人まで、様々な学生が参加しています。音楽実習の他にコンサート制作も学生が行っており、各人が1学期を通して学んだ成果が結集し、コンサートという1つの形になります。

多彩なリズムと楽器

国民音楽である「ホローボ」やカーニバルのリズム「カリブソ」から都市音楽・ワルツやサルサまでベネズエラ音楽には多様なジャンルがあります。ヨーロッパ、アフリカ、中南米、カリブ海地域の音楽文化と融合しながら、独特なリズムが形成されました。演奏には伝統楽器や西洋楽器が使われています。ゼミで主に学ぶ「クアトロ」はギターの祖先が土着化した4弦の伴奏楽器で、低音弦が両側に来るのが特徴です。これに対して旋律を奏でる伝統楽器がベネズエラハープ「アルバ」、マンドリンの祖先が発展した「バンドーラ」です。さらに超絶技巧が発達したマラカスなど豊富なパーカッションが加わり、各ジャンルの独特のノリを引き出します。



左からクアトロ、マラカス、アルバ、バンドーラ

演奏曲目

村娘 / Campesina (ホローボ)

我が平原は楽園 / Mi llano es un paraiso (ホローボ)

星の涙 / Como llora una estrella (ワルツ)

平原の魂 / Alma llanera (ホローボ)

アマリア・ロサ / Amalia Rosa (ゴルベ・ラレンセ)

コーヒーランバ / Moliendo café (サルサ)

グアヤナ・エス / Guayana es (カリブソ)

恋の酸っぱいしずく / Acidito (メレンゲ)

エロルサの祭り / Fiesta en Elorza (パサーヘ)

スンバ・ケ・スンバ / Zumba que zumba (ホローボ・レシオ)

ある元漁師の履歴書 / Constancia de un pescador (デシマ)

身をまかせて / Deja que te lleve (ソン・アドレナリーナ)

Access

京王井の頭線 駒場東大前駅（東大口）より徒歩5分

JR線 渋谷駅、小田急線 代々木八幡駅、千代田線 代々木公園駅より徒歩18分

（タクシーワンメーター）

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ estudiantina2013@gmail.com

